

沼田市12月議会が始ります

沼田市議会12月定例会は、12月3日から始まり、一般質問は5日に4人が行なう予定です。市長提出議案は市税条例の一部改正や平成25年度会計の補正予算など18件で、市民団体からの請願も予定されています。ぜひ傍聴にお出かけ下さい。

井之川博幸議員の一般質問要旨

井之川議員は5日午後2時頃からの予定



井之川博幸市議

1. 産業振興について

ア、産業振興条例の制定について

①沼田市内の総生産額や製造品出荷額の推移の状況は、市内産業の衰退を感じさせるが、現状をどう把握し、どのような対策を実施しているのか。

②昭和55年に策定された市の中小企業振興条例は、昭和38年に成立した中小企業基本法の本旨に基づき策定されているが、時代の進展や経済の発展による産業構造に対応し切れて

おらず、現在の市の産業振興に的確に対応できていないのではないか。

③真の市内産業の振興のためには、改正された中小企業基本法および中小企業憲章の理念を取り入れ、農業や林業などとの連携及び地域循環経済などの地域起こしも含め、市内産業の現状に的確に対応できる「沼田市産業振興条例」の制定が必要ではないか。

イ、中小建設業振興施策について

①住宅リフォーム促進事業の効果について。

②今後も内容を拡充させながら、継続することが必要ではないか。

ウ、農業振興施策について

①TPP交渉の現状についてどのように分析をし、対応を考えているのか。

②農業における聖域を守る約束が反故にされた場合の対策について。

③政府の減反見直し策に対する対応について。

④米をはじめ主要農畜産物に対しては、再生産の保証を国が責任を持つ 制度を確立させることが必要ではないか。

⑤本市農業の抜本的強化のために振興計画(マスタープラン)を策定し、その実行に責任を持つ(仮称)農業公社などを設立する必要があるのではないか。

⑥農業に対する有害鳥獣被害の現状と対策の強化について

子どもたちの放射能影響検査を実施して

井之川博幸市議が厚労省などと交渉



交渉する井之川市議(前列向かって右から3人目)左は塩川議員、右は酒井県議

25日、日本共産党群馬県市町村議員団などは、県内各市町村における住民要求を持ち寄って、東京・衆議院会館において各省庁の大臣などに要望書を提出し、担当職員にそれぞれの項目を直接要望しました。

井之川博幸沼田市議は、原子力災害対策本部の文部科学省、厚生労働省などの担当者に、「原発事故による放射能被害に対する健康検査や森林の除染、給食食材の検査などを国の責任で実施するよう」求めるとともに、有害鳥獣対策など農林水産省の交渉にも参加しました。

この交渉には、紙智子参院議員、塩川鉄也衆院議員も参加しました。

沼田藩土岐氏資料展

平成25年度沼田市文化財展「沼田藩土岐氏資料展」が図書館5階展示室で開催され、「金小札赤糸威具足」など49点の貴重な資料が展示されていました。

土岐家は、真田家よりも長く129年間沼田を統治しましたが、その間の貴重な資料や東京の自宅なども沼田市に寄贈しています。



沼田公園に移築されている旧土岐邸洋館



祭り時に建てる表門

御神明様の祭りしめやかに！

恒例の原田神明宮秋季大祭が23日、氏子総代、祭典委員などが集まり、しめやかに開催されました。

2013年12月1日 No.681

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料